



※保護者の皆様、先日はPTA 総会へのご参加ありがとうございました。

## 過去の努力を誇りに、新たなスタートへ

### ◆ 県大会を終えて

県大会おつかれさまでした。今年も各会場では熱戦が繰り広げられたことと思います。新聞等で皆さんの活躍や健闘ぶりを見て、嬉しさと頼もしさを感じました。3年間の全てをぶつけても、勝負には必ず勝者と敗者がいます。残念ながら敗れてしまったとしても、結果を潔く受け入れましょう。これまでの自分の取り組みや自身の成長、さらに仲間と育んだ絆に誇りを持ち、前へ進みましょう。

### ◆ On your mark !

さて、ここから受験シーズンの初戦「大学入学共通テスト試験（1/13・14）」まであと32週・220日です。全国の受験生にとって、この日数は同じです。班活動を通じて培った積み重ねの大切さと、勝負を決する1点の重みは、大学入試でも同じです。これからは勉強に対しても、もっともっと貪欲になって下さい。今後も北信越大会まで続く人もいますが、全体としてはこの県大会を区切りとするのが相応しいように感じます。ここに最終のスタートをコールして、本格的な受験生活へ突入することになります！



### ◆ Get set!!

受験準備のスタートにあたり、「しっかり切り替えられるかどうかポイント」だということは誰でも知っています。学年集団として、いかにして「勉強する雰囲気」を醸成することができるかどうかは、きわめて重要です。今週から放課後進学補習が本格的に始まりました。また、今週末には進研共通マーク模試があります。配布される「合格ライン」で志望校の目標点と合格者平均SS(偏差値)を確認しておこう。

さらに、自宅では部屋の掃除、模様替えなどをススメます。これまで、部屋の掃除も親任せだった人はいませんか？まずは自分の環境を自分自身で整理整頓し、場を清め、あなたの心を落ち着かせましょう。つぎに、学校のような公共の場ではこれまで以上に互いの気遣いを大切にすること。



### ◆ Go!!!

人間は環境と気分に左右されるものです。部屋を掃除したついでに、誘惑されやすい漫画やゲームを手の届かないところへ片付けよう。学習中はスマホをオフにして、できれば別の部屋へと遠ざけよう。

さあ、環境を整えて、気分を一新したら、新しいスタートを切ろう！

そうして、ゴールを目指して、一心不乱に走り続けよう！



→共通テストまで、あと32週220日。新たなスタート、受験への準備を始めよう！

## 「暁峰祭はもちろん大事。でも・・・」

さて、暁峰祭を前にした今、受験勉強のスタートをするのはなぜか？ それは暁峰祭を終えた時(7/3)は、共通テスト試験まで残り194日となるからです。200日を切って「大丈夫、大丈夫」なんて気休めは、やはり無責任だと思うのです。

しかし、これから校内が暁峰祭準備一色になって行くのも本校の常です。今年も開催することができ喜びを感じると同時に、伝統を受け継ぐ大切な学校行事でしょう。班活の引退を惜しみ「夏は終わらせない!」とばかりに、中庭でダンス練習が行われています。

ちなみに全国的には、高校の文化祭は当然、秋の開催が多数派です。芸術の秋やら文化の日やら、地域の文化行事と同じことです。そこで3年生はどうしているのか？ズバリ“お客さん!”です。文化祭は2年生までが基本らしいのです。さらに、ある県では「文化祭」は3年に一度とか、「体育祭」と「文化祭」を交互に行うところもあるそうです。しかし大学受験は全国区、どんな高校生活を送ろうが、受験生に課される入学試験は同じです。本校に来校する河合塾の担当者は毎年、「長野県の高校生は、部活と文化祭と受験と、3足のわらじを履いて大変ですねえ。」って言います。

文化祭には大きな意義があり、みなさんを大きく成長させてくれることは確かです。今度は学習と特別活動(HR・生徒会)の両立に励むしかありません。学習に対する思い入れには強弱が混在する時期です。ムダな時間は減らして、気持ちよく作業するためのアドバイスは3つ。

### ①作業内容は明確にし ②開始・終了時刻を明示して ③それをみんなが守る!

(最後の暁峰祭、応援しています!)

## 放課後学習・休日登校のススメ

### ◆淡々と地道に机に向かう

しばらくは、大会の高揚感や、整理のつかない気持ちが繰り返される日々ですが、こんな時こそ、机に向かいましょう。まず、目の前の授業には集中すること、そしてその予習と復習を淡々と地道にこなすことです。学習という純粋な作業に集中することは、じつはとても楽しいことです。学習中にはスマホをOFFにすること。人間には、一人で内省する時間、孤独な時間も絶対に必要です。友人であればこそ、お互いに気遣う、そんな配慮の気持ちを持ってください。

### ◆班活動と同じだけ、学校で勉強しよう

さて「班活無くなったから家で勉強するぞ!」と張り切ってみても、なかなか集中できないものです。それは班活動を続けてきた諸君にとって、放課後や休日の登下校時刻と練習時間は、3年間かけて身体に染み付いたバイオリズムだからです。

そこで、今日からは登下校の時間はそのままに、学校で勉強しましょう! 班活動に振り向けてきた時間と情熱を、これからは自分の進路実現に振り向けよう! 本校の多くの先輩たちが学習室を利用して力を付けてきました。**今年度も長期休業を除くすべての土曜日・日曜日には学習室が原則、開放されます。さらに平日は放課後19時まで、開放しています。**自分の一日の計画を立てて、積極的に利用しましょう!

**【学習室開放】** 平日：19時まで 土・日：8時30分～17時00分



## きりかえ—高校生活にみる logos—

今回のテーマは「きりかえ」。毎年この時期は多くの班活動が最後の舞台を終え、3年生は引退する。班活動から学習へ。そんなきりかえについて語ってみよう。

と言いながら、早速脱線する。まずはこのコーナーのタイトルにつけられた「ロゴス」という言葉について話をさせてほしい。ロゴス (logos) とはギリシア語で、言語・論理・理性・理法・法則・秩序などの意味を持つ。幅広い意味を持ちはするが、そこに共通する概念を日本語で表せば「理 (ことわり)」と言えるだろう。心理学 (psychology) や生物学 (Biology) といった学問の英訳につく接尾辞 ~logy は logos を語源とするものであることから、logos が理 (ことわり) の概念を示すことに頷ける。

こう話をする、このコーナーが日常から遠い話題を扱うコーナーと思われてしまうかもしれない。もちろん高尚な話題や学術的なトピックを取り上げることも役割の一つだ。一方で普通の高校生活が logos そのものと深く関係しているからこそ、このコーナーなのである。それは教科の学習で学問 (~logy) についても学んでいるということももちろんある。しかし、それだけではない。

**班**活動での取り組みを思い出してほしい。スポーツにしろ、芸術にしろ、「どう体を使えばもっと良いプレーができるか」「どんな戦略を駆使すれば、相手より有利にたてるか」「どんな手法を用いればもっとよい表現ができるか」「どんな仕掛けをすれば強い印象を与えられるか」などといった課題をもって活動に励んだはずだ。これらの課題は、目指すものこそ異なるが、その根底には、いずれも「理 (ことわり)」を追い求める姿勢が隠されている。当然班活動に限った話ではない。好きだからやるものも、楽しみながらやっているものでも、「しくみを理解しようとして、どうすれば上手くいくか考える」ような取り組みならなんでも、logos と通じる。

では、教科 (学問) と班活動などは、それぞれ異なる **logos** を持つのか。実はそうではない。教科も班活も logos は logos だ。手法や具体的な対象こそ違うものの、どちらにも言語や論理を用いて、より高いものを目指す姿勢があったはずだ。君たちは班活動などで、どうすれば上手くいくかについて、理屈で考え、誰かにより正確に伝えるために言葉を選んできた。言語や論理を駆使する力こそ、教科や探究だけでなく、日常生活において、みなが知らず知らずに鍛えている力と言っているのだ。

**学**さて、ようやく冒頭の本題にもどる。「班活動などを終えて、**学**習にきりかえる」とは、なにも、今までと異なる活動をやるように意識をかえることではない。**班活動などで、身につけてきた力や姿勢を、きっちり学習に活かすことに他ならない。**終わりが見え始めると、中には、班活ばかりやっていないで、もっと勉強すればよかったと、後悔の念をもつ人もいるかもしれない。だが今悔やんでも時は戻せない。であれば、班活動などの経験に後ろめたい視線を向けるのではなく、その経験の上に立ち、その経験を活かきり、あなたがつけてきた力 (logos) のすべてで自分の進路実現に挑んでほしい。「きりかえ」とは、まさにその覚悟を持つことなのだ。

本校OB、OGの教育実習生の皆さんから、受験生の3年生にむけてメッセージです。

### 教育実習生からのメッセージ

#### ◆佛教大学歴史学歴史学科

(前略) ここで皆さんに伝えたいことがあります。それは大学のための受験勉強は2年の冬からでは遅いということです。私は英語が苦手で、得意な社会ばかりを勉強していました。案の定、英語の点数はあまり伸びずに受験を終える結果となってしまい、とても後悔しています。吉田高校では多くの人が大学を目指すために努力をされると思います。何事にも早めの準備が必要です。毎日英語の教科書を音読するなどでも大きく変わってきます。やり方がわからない時は先生に相談しましょう！先生方はとても親身になって相談に乗ってくれます。私も何度も相談しました。

#### ◆信州大学理学部数学科

(前略) 「こんなに問題解いているのに伸びない…」と心が折れそうになることが何度もあるかもしれません。そんなとき周りを見てください。同じ思いで受験勉強を頑張っている仲間たち、1聞いたら10答えてくれる先生がいます。受験は団体戦という言葉があります。当時の自分は、「団体戦？個人戦じゃないのか。」と正直思っていました。しかし、今になって分かりました。頑張っているのが自分だけではない、なんでも教えてくれる先生がいる。こんな環境こそが、受験は団体戦の意味です。頑張っているのはひとりではありません。支え合いながら頑張ってください。

#### ◆信州大学工学部物質化学科

(前略) もし進路に悩んでいる人がいれば、自分は何の授業が楽しいと感じるかとか、気になったニュースなどの漠然とした興味から考えてみるのも一つの手だと思います。また、進みたい分野や大学が決まっている人は、是非その先のことも考えてみてください。大学でどんな研究がしたい、将来どんな仕事がしたいというのは受験勉強のモチベーションになりますし、後悔のない進路選択につながると思います。吉田高校は課題や小テストが多く、とても大変だと思います。しかし、学校で勉強する内容は受験勉強でも基礎となる重要な部分なので、受験生になった時の自分を助ける意味でも普段の課題や小テストを着実にこなしてみしてほしいです。頑・¥・張ってください！

#### ◆帝京大学医療技術学部スポーツ医療学科

(前略) 高校最後の大会前にけがをし、思い通りにプレーすることができないもどかしさ、苦しさをから不完全燃焼のまま野球班を引退しました。そこで、自分と同じような苦しみを持った人に手を差し伸べ、助けられるようになりたいと思い今の進路を選びました。きっと、みなさんの中にはやりたいことが分からない人がたくさんいると思います。そのような人も焦らず、興味のある事やもっと知りたいと思うことについて調べてみてください。進路を決めるきっかけはみなさんの身の回りにたくさん転がっています。高校生活全力で楽しんでください!!そうすれば進む道が見えてくるかもしれません。